

# きりたんぼラウンド in Akita

H29. 1. 7

秋田県スポーツ科学センター

今回で、5回目の秋田県「きりたんぼラウンド」は、県内はもとより、山形県・福島県からも御参加をいただき、総勢26名で開催することができました。1月の開催でありましたが、天候にも恵まれ、各研究団体の皆様や参加者から、御協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

懇親会では、「きりたんぼ鍋」を囲み、本当に楽しいひとときを過ごすこともできました。

## 1 話題提供 「第35回秋田県学校体育研究大会横手大会を終えて」

### 「県内の実践より（鹿角体育研究会、秋田市体育研究会）」

横手市体育研究会からは、今年度開催した第35回秋田県学校体育研究大会横手大会に向けた取組が紹介されました。単元構造図をもとにした「単元指導計画表」を作成することにより、指導内容・指導方法・評価内容・評価方法の一体化を目指した取組でした。平成23年度、横手市体育研究会冬季研修会の講師が佐藤豊教授であったこともあり、今までの研究の様子から、指導と評価の一体化に対する会員の深い理解と確かな実践が感じられました。

鹿角体育研究会からは、研究会で実施している「実技研修」「授業研究会」の取組が紹介されました。「実技研修」は、夏と冬と年2回実施され、各種研修に参加した先生方からの伝達講習が行われているという内容でした。研修内容を会員全体で共有し、指導方法を高めていることが分かりました。「授業研究会」では、平成30年度に向けたテーマが設定されており、テーマに向けた授業実践が小・中学校で行われていました。さらに、お互いが校種を越えて参観できるようにすることで、校種間連携が図られていました。

秋田市体育研究会では、第34回秋田県学校体育研究大会秋田大会での成果をもとに、出版社からの依頼を受け、指導のための参考資料を作成していることが紹介されました。参考資料には、小学校の各領域毎に「はじめの段階での指導例」、「やや進んだ段階での指導例」を掲載するなど、安全で効果的な指導が、図解入りでわかりやすくまとめられていました。研究大会での成果が、さらに波及していることが分かりました。

## 2 演習・協議・まとめ

協議では、佐藤豊教授から、「本日、最も聞いて帰りたいこと」、「現在、最も疑問に思っていること」を各自が付箋紙に記入するように指示がありました。その内容に添って班毎に協議し、最後のまとめを行うというものでした。おかげで、演習・協議・まとめの一体化が図られ、参加者の満足度も高まりました。各班毎に協議した内容として「新学習指導要領の趣旨・内容について」「豊かなスポーツライフの実現に向けて」「体育・保健体育におけるアクティブラーニングについて」等が、挙げられていました。

まとめでは、佐藤豊教授からは、「学習指導要領改訂の方向性」、「育成を目指す資質・能力の三つの柱」「資質・能力の育成と主体的・対話的で深い学びの実現の関係」等について、解説していただきました。「何ができるようになるか」を大切にしながら、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」ということを授業づくりに生かしていかなければならないと感じました。また、「指導内容」と「育成を目指す資質・能力の三つの柱」の深い関連について、理解を深めていかなければならないことも感じました。

お忙しい中、佐藤豊教授、参観者の皆様には、御参加いただき、有意義な時間を過ごすことができましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

